

社長退任の御挨拶

皆様におかれましては、1番草収穫も無事終わられたことと思います。
先に送付させていただきましたように、この6月をもって無事社長を退任することといたしました。平成6年6月、古い車両整備会社事務所（写真）を借り「総合牛群管理サービス」として、獣医師一人で立ち上げた会社でありましたが、現在では獣医師10名、授精師1名、事務職員4名を数えるまでになりました。開業当初、11戸の顧客とともに出発しましたが、現在は100戸を優に超える酪農家様とお付き合いいただけていることにも、大きな驚きを感じています。

農業共済組合との様々なやり取りがありましたが、その都度酪農家の皆さんがその盾となって守っていただいたこと、BSEの発生では、酪農家さんとともに直接農水省へ出向いたり、マスコミとのやりとりなども深く記憶に残っています。さらには口蹄疫が十勝で発生した時の、言い知れない恐怖も鮮明に思い出すことができます。その後も、サルモネラ症の発生、飼料高騰など酪農業界にとって大きな試練もありましたが、それらを乗り越えて農場を大きく成長させてこられた酪農家皆さんの努力に敬意を表すると同時に、そこに少しでも私自身もしくは、当社が関与できたことに、この上ない喜びを感じているところです。

会社を始めたときにまだ、幼かった子らが今は立派な後継者になっていることも、月日の流れを感じます。この間に数名の有為な後継者が不慮の事故で急逝されたことは、痛恨の出事ではありましたが、それを乗り越えて後継者が育っていることに酪農家の強靭さを感じるしだいです。

今後は会長としていましばらく、仕事を続けたいとおもいますので、新社長である佐竹獣医師ともども、これまでと変わらぬご指導を賜りますようお願い申し上げ、社長退任の御挨拶とさせていただきます。



開業時の事務所：通りすがりのドライバーがパンクをなおしてくれと言ってきたりしたものです・・

黒 崎